

1 題材名 クリーン大作戦

2 題材の目標

- 清掃に関心をもち、身の回りを快適に整えようとしている。(家庭生活への関心・意欲・態度)
- 身の回りを点検し、課題を見付け、清掃の仕方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。(生活を創意工夫する能力)
- 汚れの種類や汚れ方に応じた清掃ができる。(生活の技能)
- 汚れの種類や汚れ方に応じた清掃の仕方について理解している。(家庭生活についての知識・理解)

3 題材について

小学校学習指導要領解説家庭編（平成20年8月）では、「家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てるということは、家族の一員として、家庭生活を改めて見つめ直したり実感したりすることによって、現実の自分の生活の中から課題を見だし、身に付けた知識や技能を活用して生活をよりよくしようと工夫する能力と進んで実践しようとする態度を育てることである。」と示されている。本題材では、「生活をよりよくしようとする実践的な態度」について、進んで実践しようとする態度と捉える。

アンケート調査を行ったところ、本学級の児童は、家庭で清掃や洗濯、食事、生活全般に関する様々な仕事を行っている。また、学校生活の中では、毎日行っている清掃活動に一生懸命に取り組む児童が多くみられる。しかし、家庭生活の様子を見ると、食事や生活全般に関する仕事に比べて、掃除に関する仕事を行っている児童はやや少ない。児童は、これまでに清掃の経験や清掃の仕方についての学びを積んできており、教室にほこりなどの汚れが存在し、ほうきで掃いたり、ぞうきんで拭いたりすることできれいにできることは知っている。しかし、身の回りの清掃の必要性や汚れの種類や汚れ方、場所にあった清掃の仕方についての知識は十分ではない。そこで、実生活の中で、進んで清掃を行おうとする態度を育てるためには、実感を伴って理解できる指導の工夫をし、実践する喜びを味わうことが大切であると考えます。

普段何気なく行っている学校や自宅の清掃であっても、その必要性や汚れに応じた清掃の仕方を理解し、意識することができるようにしていきたい。そのために、汚れの種類ごとに同じ課題をもついくつかのグループに分かれて、課題解決のための話し合いを行う。汚れに応じた清掃の方法について意見を出し合い、比較検討しながらよりよい方法を考え、実践していくことで、課題の解決だけでなく、児童の清掃のスキルアップも望めると考える。また、「汚れ調べ」や「教室ピカピカ大作戦」などの体験的な活動を取り入れ、実感を伴った学びの場を設定する。「汚れ調べ」の際に、自分たちで教室の汚れを探して写真を撮っておき、清掃後の写真と比較することができるようにする。

「教室ピカピカ大作戦」で身の回りがきれいになることの気持ちよさや喜びを実感することで、普段の生活でも行おうとする意欲を高め、身の回りを快適に整え、家庭生活をよりよくするための実践へとつなげていきたいと考え、本題材を設定した。

4 指導と評価の計画（5時間扱い）

第1次 そうじの仕方を見直そう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間

時	主な学習内容・活動	関	創	技	知	評価規準及び評価方法
1	教室の汚れ調べを行い、なぜ汚れるのか、何のために清掃するのか考える。	○				清掃に関心をもち、教室のごみや汚れを進んで観察しようとしている。 (発言・ワークシート)
② 本時	今までの清掃を見直し、汚れの種類や汚れ方に応じた清掃の仕方を考える。				○	汚れの種類や汚れ方に応じて、掃く、拭く、こする、はたく、吸い取るなどの清掃の方法や用具を選んだり、順序を考えたりすることが必要であることを理解している。 (発言・ワークシート)

第2次 そうじの仕方を工夫しよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3時間

5 本時の指導

(1) 目標

- 汚れの種類や汚れ方に応じて、掃く、拭く、こする、はたく、吸い取るなどの清掃の方法や用具を選んだり、順序を考えたりすることが必要であることを理解している。

(2) 展開 (●は全体に対して、○は個に対しての支援、③は評価)

時間	学習活動及び内容	支援・手立てと評価
3	1 前時の活動を振り返り、教室の中で見付けた汚れの種類を確認する。	● 場所によって、汚れ方や汚れの原因が違うことが確認できるように、前時の活動で児童が撮影した汚れの写真を黒板に掲示する。
5	2 本時の学習課題をつかむ。 見付けた汚れをきれい落とすには、どうしたらよいだろうか。	● 今までの清掃の仕方を見直し、汚れの種類や汚れ方に応じた清掃の仕方について考えていくことができるように、いくつかの清掃用具を提示する。
7	3 見付けた汚れに応じた清掃の仕方を考える。 (個人) (1) 今までの清掃の仕方 ・ほうきで掃く。 ・雑巾で拭く。 (2) 清掃の仕方でさらに工夫できること ・スポンジでこする。 ・楊枝のようなものでかき出す。 ・歯ブラシを再利用する。 ・割り箸に布を付けたものを使う。 ・クレンザーを使う。 ・ぬらした新聞紙でこする。	● 汚れの種類(写真)と清掃の仕方を結び付け、汚れに応じた清掃の仕方考えることができるように、写真付きのワークシートと付箋を準備しておく。 ● 今までの清掃の仕方と、汚れに応じた清掃の仕方の工夫を分けて書くことができるように、付箋は2色準備しておく。 ● 事前に、家庭での清掃の仕方を調べる課題を出し、汚れに応じた清掃の仕方考える際の参考にできるようにする。 ○ 付箋に具体的な清掃の仕方を書けない児童には、清掃用具の使い方を考えるように助言する。
25	4 汚れをきれい落とすにはどうしたらよいか話し合う。 (グループ→全体) ・机の上 ・机・イスの脚 ・黒板の上部 ・黒板の下 ・本棚・ロッカー	● 汚れの種類ごとに、考えた清掃の方法、用具の使い方や順序について根拠となる理由を考えるように助言し、よりよい方法を検討することができるようにする。 ○ 話し合いでなかなか発言できない児童には、付箋に書いたことをそのまま読んで良いことを伝え、全員が自分の思いを伝えられるようにする。 ● 次時で清掃の計画を立てる際に、本時の学習が生かせるように、汚れの種類ごとに「清掃のポイント」として整理しながら板書する。 ● 環境に配慮した生活の工夫にも目を向けられるようにするために、洗剤の使い方や

	<ul style="list-style-type: none"> ・窓ガラス ・窓のサッシ ・流し 	<p>洗剤を使わない方法，不要品を活用した方法を紹介する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>⑧ 汚れの種類や汚れ方に応じて，掃く，拭く，こする，はたく，吸い取るなどの清掃の方法や用具を選んだり，順序を考えたりすることが必要であることを理解している。 (家庭生活についての知識・理解，発言・ワークシート)</p> </div> <p>● 本時の学習で話し合ったことをもとに，清掃の計画を立て，「教室をピカピカにしよう」という次時の実践に意欲をもつことができるようにする。</p>
5	<p>5 本時の学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚れの種類や汚れ方に応じた清掃の仕方をまとめ，次時の見通しをもつ。 	<p>● 本時の学習で話し合ったことをもとに，清掃の計画を立て，「教室をピカピカにしよう」という次時の実践に意欲をもつことができるようにする。</p>